

転倒災害を防止するために ～ 早めの対応で未然に防ぐ～

転倒災害は、4日以上休業を要した労働災害の中で最も多く発生している労働災害であり、近年においても上昇の一途をたどっています。敦賀労働基準監督署管内でも、転倒災害が最も多く発生している状況にあり、また、業種問わず多く発生しています。転倒災害の分析をしてみると、多くのもので予防していれば未然に防げた災害が多くありましたので、皆様の職場においても導入できるものがあれば事前の対策を進めていただきますようお願いいたします。

転倒災害とは

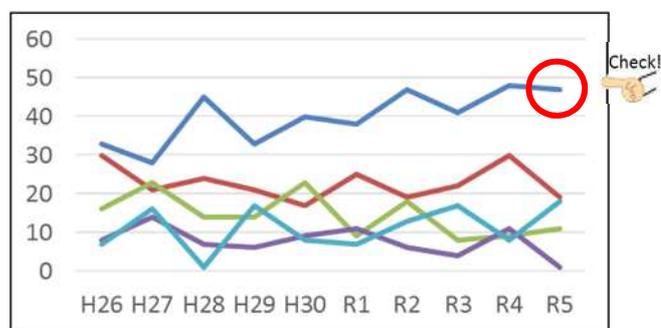
転倒災害とは、人がほぼ同一平面上で転ぶこと、つまづき、又は滑りによって倒れること（車両系機械と一緒に転倒した場合も含む）を言います。

《災害のタイプと主な原因》

| | | |
|---|---|---|
|  <p>滑り</p> |  <p>つまづき</p> |  <p>踏み外し</p> |
| <p>床面の濡れ・凍結・積雪 床面の油の付着など</p> | <p>床面の凹凸や段差 床面の工具・用具 床面の資材、製品等 照明がなく暗かったなど</p> | <p>床面、階段踏み面の濡れ 床面、階段踏み面の凹凸 階段の蹴上の高さ不揃いなど</p> |

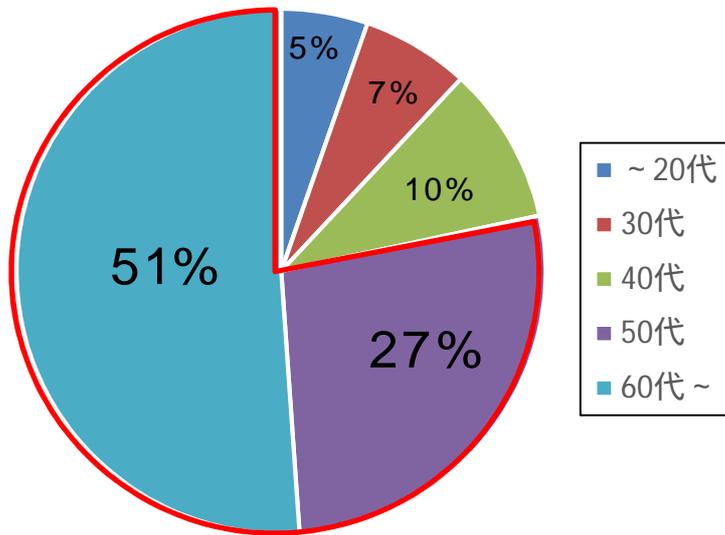
転倒災害発生の変動

事故の型別労働災害発生状況（敦賀署管内）



直近10年間においては、従来多発していた「墜落・転落」や「はさまれ・巻き込まれ」による災害を抑え、**転倒災害**が突出して多く発生している。近年では、「動作の反動・無理な動作」による災害も増加傾向にある。

被災労働者の年齢階層（令和元年～令和5年）

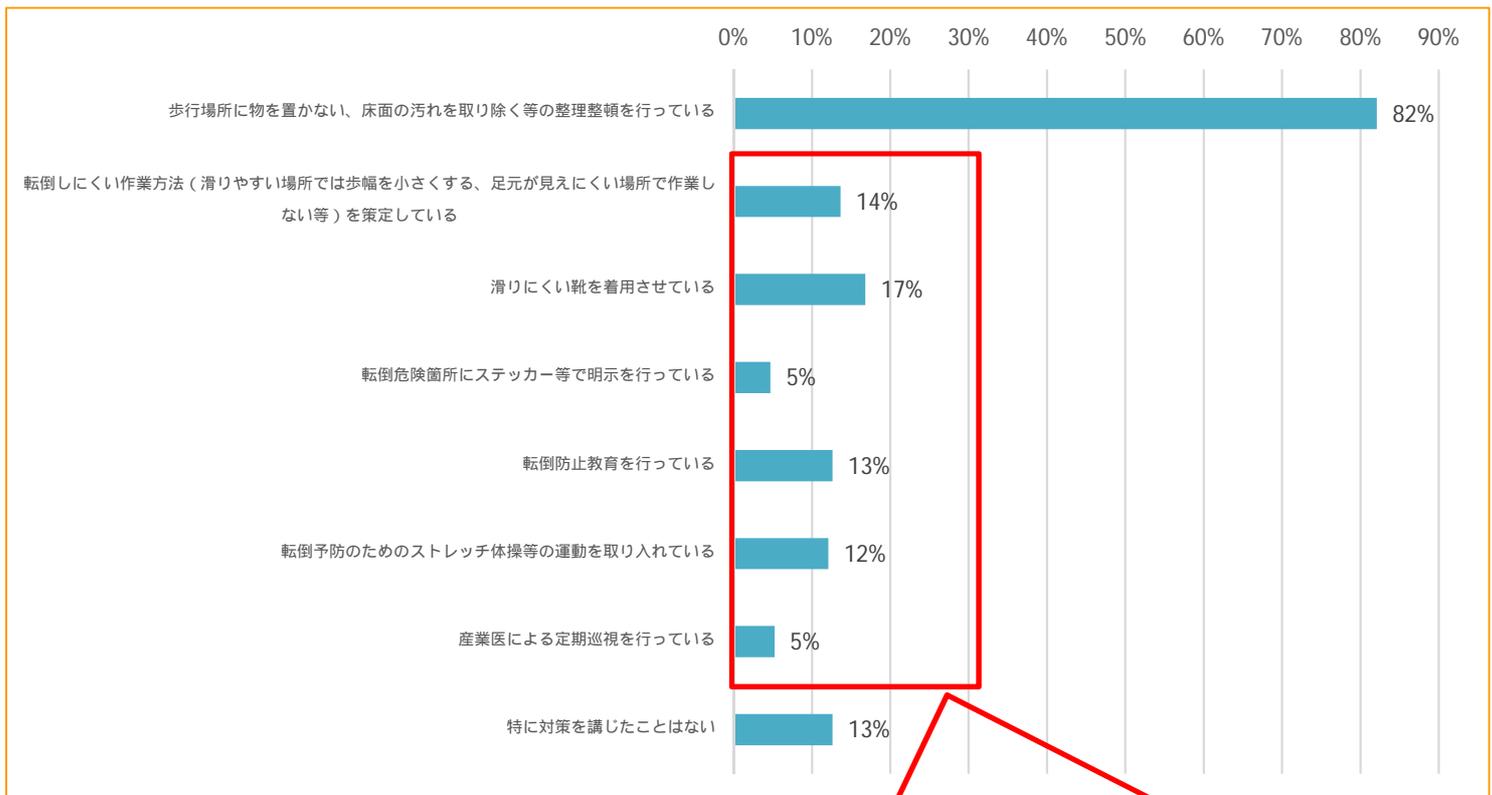


被災者の**約8割**が**50代以上の労働者**となっている。

特に**50代以上の女性**で転倒災害が多発しており、50代以上の転倒災害のうち、**約75%**を占めている。

（参考）敦賀署管内の転倒災害に向けた自主点検結果（令和6年度、社会福祉施設に対し実施したもの）

・労働者の転倒災害を防止する上で何か取り組んでいること（複数回答可）

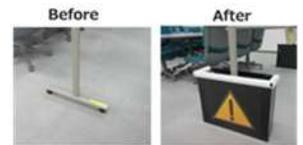


この結果から、約8割の職場で転倒災害防止のために4S活動（整理・整頓・清掃・清潔）に取り組んでいることが分かる一方で、転びにくい靴の着用や転倒危険箇所の「見える化」などの取組みについては、すべて20%を下回る状況であった。転倒災害を防止する上では、施設・設備面の改善だけでなく、労働者自身の注意や配慮も大変重要な取組みである。

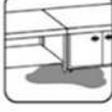
転倒災害を防止するための職場チェックリスト

「つまずき」等による転倒災害の原因と対策

- (なし) 何もないところでつまずいて転倒、足がもつれて転倒
➢ 転倒や怪我をしにくい**身体づくり**のための運動プログラム等の導入 (★)
-  作業場・通路に放置された物につまずいて転倒 **バックヤード等も含めた整理、整頓** (物を置く場所の指定) の徹底
-  通路等の凹凸につまずいて転倒
➢ 敷地内 (特に従業員用通路) の**凹凸、陥没穴等** (ごくわずかなものでも危険) を確認し、**解消**
-  作業場や通路以外の障害物 (車止め等) につまずいて転倒
➢ 適切な通路の設定
➢ 敷地内駐車場の車止めの「見える化」
-  作業場や通路の設備、什器、家具に足を引っかけて転倒
➢ 設備、什器等の角の「見える化」
-  作業場や通路のコードなどにつまずいて転倒
※引き回した労働者が自らつまずくケースも多い
➢ 転倒原因とならないよう、電気コード等の引き回しのルールを設定し、労働者に遵守を徹底させる



「滑り」による転倒災害の原因と対策

-  凍結した通路等で滑って転倒
➢ 従業員用通路の除雪・融雪。凍結しやすい箇所には融雪マット等を設置する (★)
-  作業場や通路にこぼれていた水、洗剤、油等により滑って転倒
➢ **水、洗剤、油等がこぼれていることのない状態を維持する。**
(清掃中エリアの立入禁止、清掃後乾いた状態を確認してからの開放の徹底)
-  ウェットエリア (食品加工場等) で滑って転倒
➢ 滑りにくい履き物の使用 (労働安全衛生規則第558条)
➢ **防滑床材・防滑グレーチング等**の導入、摩耗している場合は再施工 (★)
➢ 隣接エリアまで濡れないよう処置
-  雨で濡れた通路等で滑って転倒
➢ 雨天時に滑りやすい敷地内の場所を確認し、防滑処置等の対策を行う



エイジフレンドリー補助金

(★) については、高齢労働者の転倒災害防止のため、中小企業事業者は「エイジフレンドリー補助金」を利用できます

中小事業者は、無料で安全衛生の専門家のアドバイスが受けられます

転倒リスク・骨折リスクを低減するためにできることは

➤ 加齢とともにすべての人が、転びやすくなります

✓ いますぐ「転びの予防 体力チェック」



✓ 「毎日かんたん！口コモ予防」 (出典：健康寿命をのばそう SMART LIFE PROJECT)



➤ 特に女性は加齢とともに骨折のリスクも著しく増大します

✓ 対象者に市町村が実施する「骨粗鬆症検診」を受診させましょう

✓ 骨粗鬆症予防も一緒に！「骨活のすすめ」 (出典：健康寿命をのばそう SMART LIFE PROJECT)



➤ KYT (危険予知トレーニング) を実施して危険感受性を高めましょう

危険感受性とは、危険な場所・物を正しく認識する力を言います。日ごろから、危険(リスク)を磨く気づきの訓練を実施することで自然と危険を回避する行動をとる状態を目指しましょう



参考サイトの紹介

職場のあんぜんサイト

職場の安全を応援する情報発信サイトであり、転倒災害に対しても、セミナー案内、各種視聴覚教材の掲載や転倒災害事例が紹介されています。



「見える化」安全コンクール 事例集 (SAFEコンソーシアムHP)

SAFEコンソーシアムは、増加傾向にある労働災害(特に行動災害)の防止対策強化を目的として複数の企業・団体に形成された組織です。

様々な具体的取り組みの好事例や関連動画が公開されていますので具体的に何をすればいいんだろうと思われる方は是非ご覧ください。

また、コンソーシアムの加盟メンバーとして参画することもできますので検討してみてください！



エイジフレンドリーガイドライン

高齢労働者が安心して安全に働ける職場環境づくりや、労働災害防止のための健康づくりを推進するために厚生労働省が策定したガイドラインです。

「働く高齢者の特性を考慮した」取り組みの例等が掲載されています。取組みに係る補助金もありますのでご活用ください！

